



農福連携全国フォーラム 2023 in ぎふ

農業を食糧と職業に
できる社会へ

NPO法人農スクール
小島希世子
(野菜農家・神奈川県)

自己紹介：小島希世子（Kiyoko Ojima）



1978年熊本県生まれ
熊本高校・慶應義塾大学卒
柔道貳段

-神奈川県藤沢市 認定農業者
-NPO農スクール 理事長
-株式会社えと菜園 代表取締役

◆ 活動

農作業を活用した「就労支援プログラム」「新入社員研修」などの開発・提供を行う
2021年内閣府「令和3年度 官僚幹部候補育成課程中央研修（係長級）」
(官僚700名対象)の講師を拝命

◆ 著書

「ホームレス農園」(河出書房新社,2014年)
「農で輝く！ホームレスや引きこもりが人生を取り戻す奇跡の農園」
(河出書房新社,2019年)

◆ 受賞

農林水産大臣奨励賞 受賞(人間力大賞)(2017)
WIRED Audi INNOVATION AWARD2019受賞(2019)

農スクールが向き合う社会課題

計:330万人

ホームレス
4,555人
(2019年)

農業界は

基幹的農業
従事者数_が

136.1万人

平均年齢：67.8歳

高齢化・担い手不足

生活保護受給者
214万人
(H.29)

引きこもり
61.3万人(40-64歳)
(H.31)

引きこもり
54.1万人(15-35歳)
(H.31)

資料：

農林水産省 <http://www.maff.go.jp/j>

日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO43067040Z20C19A3CR0000/>

厚生労働省HP https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000164401.pdf

農スクールの取組み

働きたいけど仕事がない人と人手不足の農業界をつなぐ



働きたいけど
仕事がない人



人手不足の
農業界



農スクールの取り組み

就農支援プログラムの提供により
働けない状態の人を日本の農業界を支える人材に育成

未来の農業界に
貢献する人

自社農場で独自の
農業プログラムを提供
・自分の長所の発見
・自分への自信の回復



Step②
地域農家での
農家
インターン



Step①
自社農場での
農業
プログラム

実践的な農業体験
「適材適所」の発見



就労困難な人
引きこもりの人



A woman with glasses and a blue jacket is crouching on the left, smiling at the camera. Behind her, a group of about ten children of various ages are standing and smiling. They are in a dry, dusty village area with simple houses and trees in the background. In the foreground, there is a large woven basket filled with white powder, a green plastic container, and a small wooden box.

小島
本人
です！

「将来は農家になって食糧難を無くす仕事がしたい」
という思いから、農業を選択

A photograph showing three people working in a lush green vegetable field. In the foreground, a person wearing a light blue cap and a tan shirt is crouching, tending to plants. To their left, another person in a light blue shirt and orange pants is also crouching. In the background, a third person in a white shirt and dark pants is working. The field is filled with various green plants, including large-leafed ones in the foreground and taller stalks in the background. The overall scene is vibrant and active.

ホームレスの人たちと
一緒に取り組む
野菜づくり

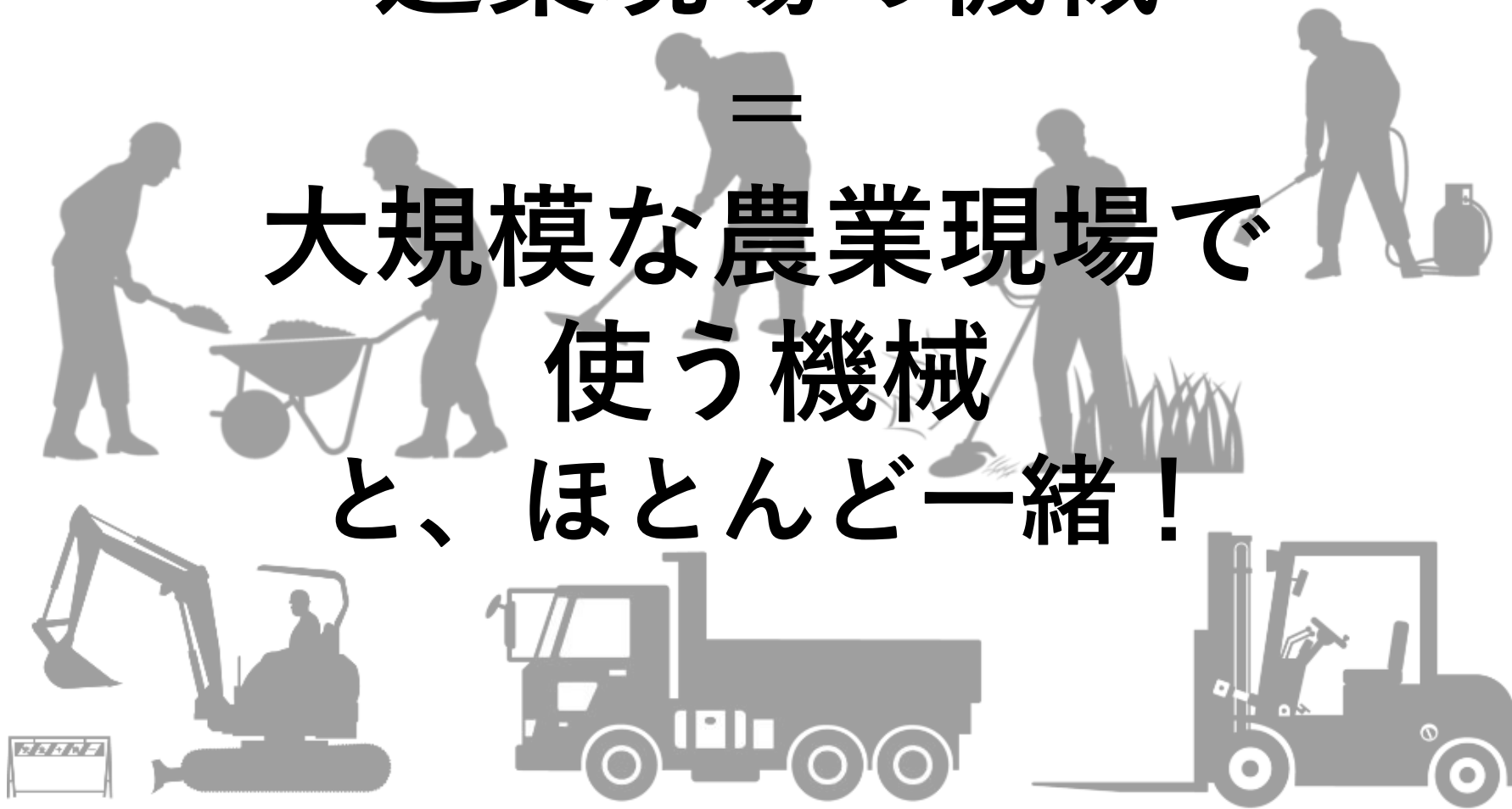
この図からあなたは何を想像しますか？



建築現場の機械

=

大規模な農業現場で
使う機械
と、ほとんど一緒！

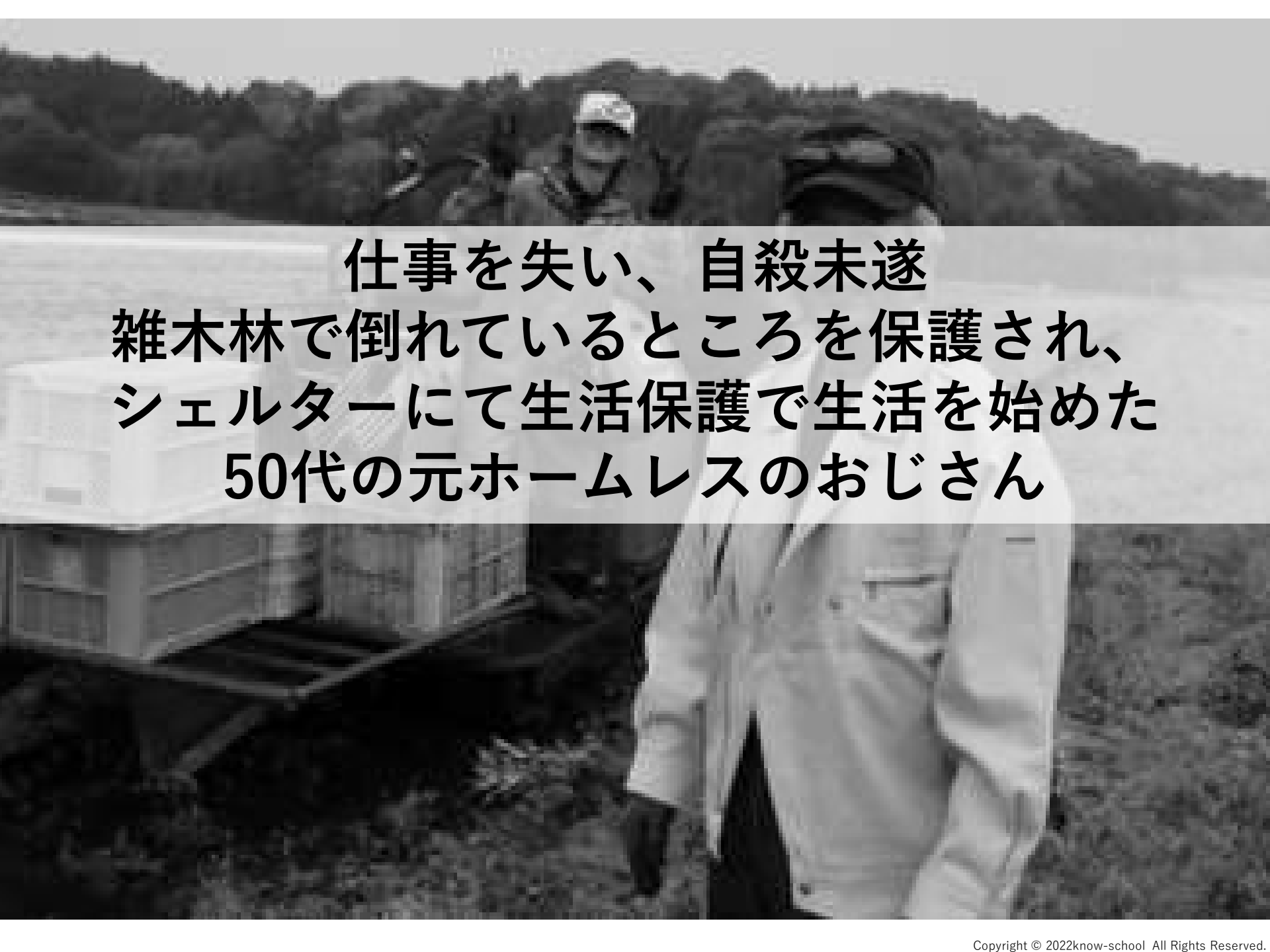


ホームレスのお
じさんたちは
農業界で即戦力
になれる





50代の農家の男性(農業法人の正社員)



**仕事を失い、自殺未遂
雑木林で倒れているところを保護され、
シェルターにて生活保護で生活を始めた
50代の元ホームレスのおじさん**



**「野菜を育てる」という成功体験が
自信の回復につながっている**

「生きていること」を実感できる
場になっている

人間社会以外の
昆虫と植物の世界観





青空の下での共同作業で、
コミュニケーションの練習に

畑＝「居場所」になる



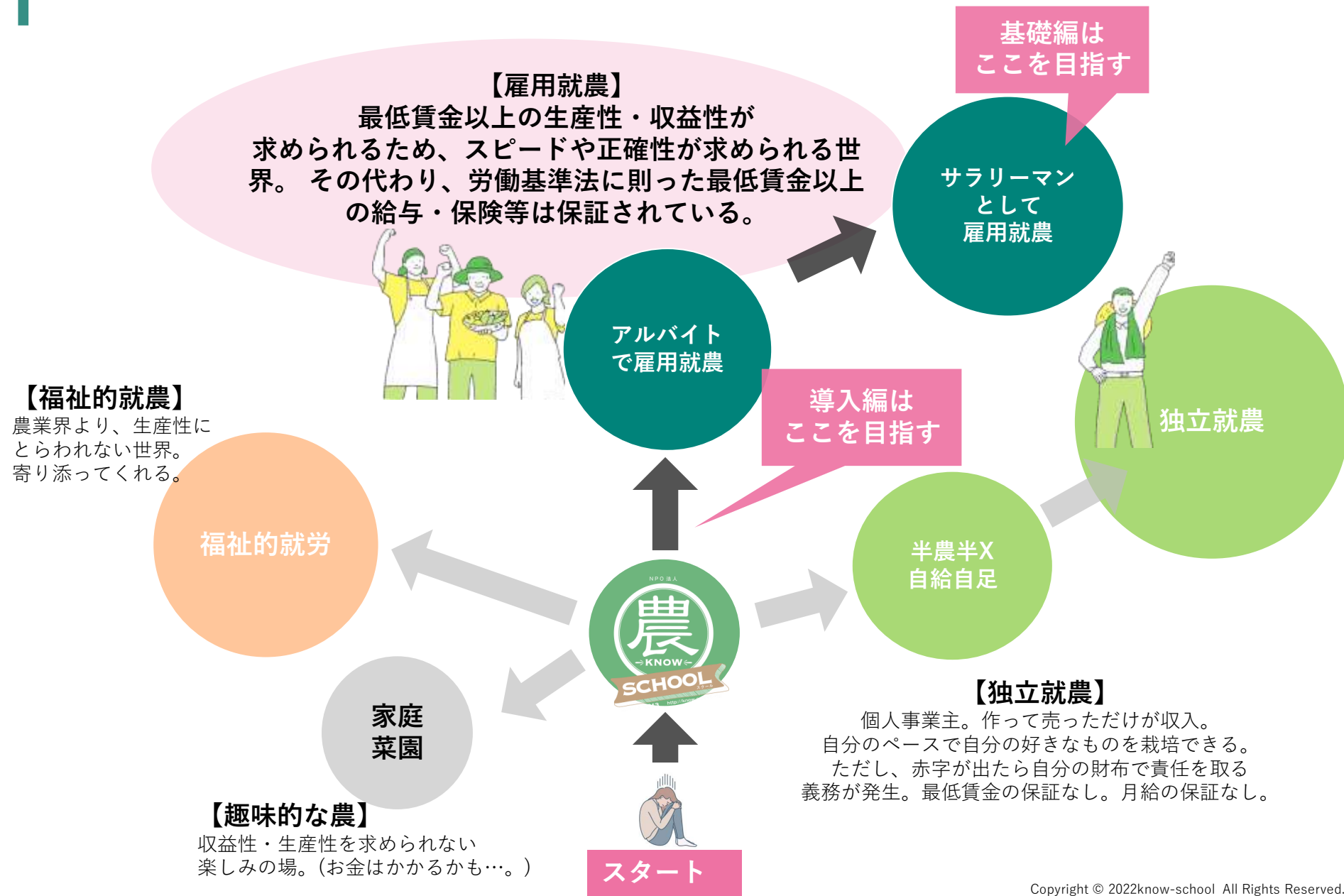


人は野菜を育てながら、
実は・・・
自分自身を育てている



長年、引きこもりだった方々が、
農業法人の正社員に！

農スクールの就農支援プログラムは一般就労が目的

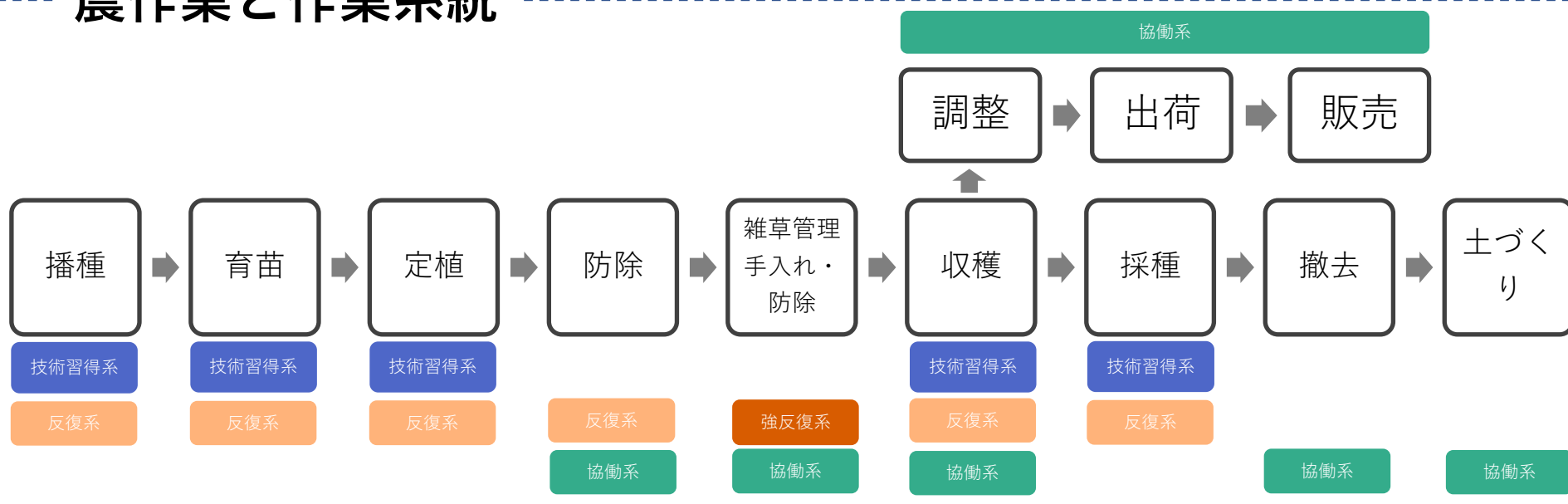


一般就労に向けたスキル開発メニュー

▶ 農作業を **技術習得系** **反復系** **協働系** の3つにカテゴライズ

▶ 就労支援対象者の進捗状況に応じて、3つの作業カテゴリをバランスよく組み込んだ能力開発メニューをとして提供することで即戦力となるスキルを身につける

農作業と作業系統



一般就労に向けたスキル開発メニュー

▶ 三つの作業系統をこなすことで単なる農業スキルだけでなく、目標の習慣化やセルフモチベート、メンバーシップ力などのソフトスキルを鍛える

反復系

ルーチンワークにおいて意識的に「自分なりの仕事の楽しみ」を習慣付けるワークを取り入れることで能力を鍛える。

目標

- ・ 自立型人材の育成
- ・ 仕事と自分の関係性の再構築



協働系

メンバーと協力して作業をすることで、コミュニケーション能力を向上させると同時に、自分の長所を発見し、自身や各メンバーの「役割」を見抜く能力を鍛える。また、個人と集団でのタスクの重要度・緊急度の違いによる優先度の違いを学ぶ。

目標

- ・ 組織における役割発見
- ・ コミュニケーション能力向上
- ・ メンバーシップ養成



技術習得系

新しい技術を習得するという体験をすることで、普段とは違う観点で自分を見つめ直したり、習得までの小目標を設定する習慣を身につけていく。

目標

- ・ 自己分析
- ・ 目標設定によるモチベーションの自己管理



就農支援プログラム実例 導入編

自社農場



就農支援プログラム実例 基礎編

農家実習



就農支援プログラム実例 基礎編

農家実習



学習効果を高めるワークノート

The image shows two overlapping workbooks. The left workbook has sections for 'Reflection' (振り返り), 'Learning' (学習), and 'Action' (行動). The right workbook has sections for 'Reflection' (振り返り), 'Learning' (学習), and 'Action' (行動). Both workbooks have a table at the bottom for recording scores and progress.

卒業後は
製本し
本人へ返却

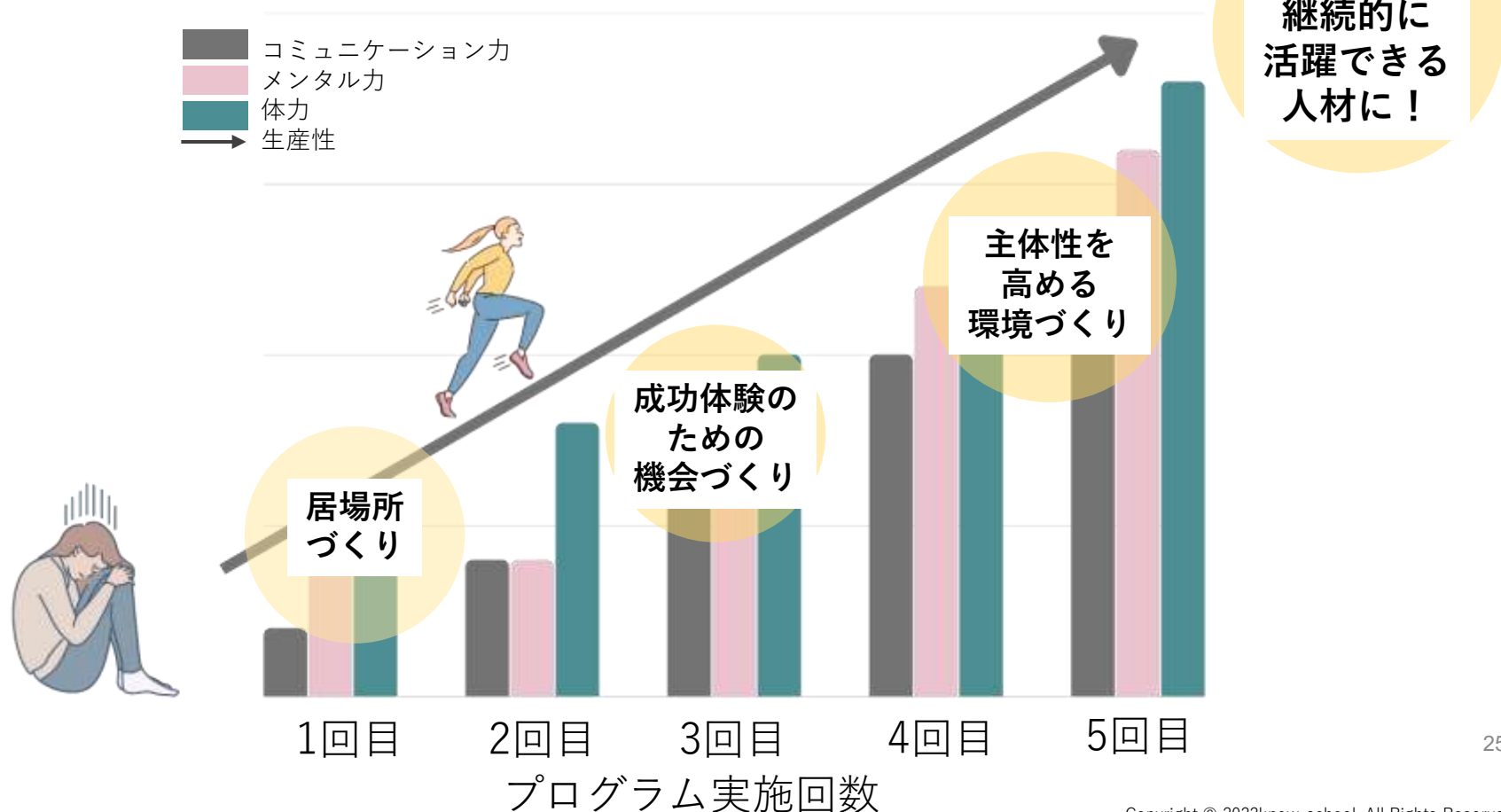


「どう感じたか」「どう貢献したか」など毎回プログラム後に言語化することで、自分の気持ち・考えと向き合いながら、「働く」定義のマインドセットを行う。客観的に自分を認知する能力、目標設定から達成までのプロセス形成なども学べるためメンタル力向上にも寄与する。

ワークノートはプログラムメニューの構成に応じて11種類が存在している。

就農支援プログラムによるスキル開発

▶ 一人ひとりの長所を発見し、長所を生産性というベクトルに向かって伸ばすことにより“スキル”へ変えていくためのプログラムを構築・提供



就農支援プログラムによる適材適所の実現

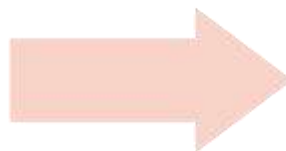
▶ 一人ひとりに合った「適材適所」で農業を食料と職業にしていく！

Aさん



体力
思考力
スピード
コミュニケーション力
反復練習

★
★★★★
★★★★
★
★



袋詰めの仕事



Bさん



体力
思考力
スピード
コミュニケーション力
反復練習

★★★★★
★
★★
★★
★



畑で作業する仕事

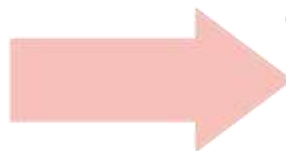


Cさん



体力
思考力
スピード
コミュニケーション力
反復練習

★★
★★★★
★★
★★★★★
★



畑を案内する仕事



Dさん



体力
思考力
スピード
コミュニケーション力
反復練習

★★
★★★★★
★
★★
★



生産管理する仕事



農スクールの就農支援プログラム

▶環境が変われば短所が長所になる→「適材適所を極める」



60代男性

体力はあるが読み書きができないため、就職先が見つからない



体力を生かし、
重量野菜の農家に
正社員として就職！



30代男性

相手の考えていること
気持ちに敏感になりすぎて、
人付き合いが極度に怖い



相手(生き物)の気持ちを
読み取る能力を活かし、
畜産の現場に就職！

環境を変えれば

「短所」は

「長所」になる

適材適所

適地適作

就農支援プログラムの広がり

他エリアでの就農支援プログラム実施数は年々増加
2023年は自治体・団体十数か所の就労支援の現場に
プログラムを提供



※実施自治体数には、農スクール及び提携する企業が提供している農業プログラムも含む

ホームレス・引きこもり・障害を持たれている方
…みんな同じ畑で一緒に農作業を行うスタイル



ホームレス・引きこもり・障害を持たれている方 …みんな同じ畑で一緒に農作業を行うスタイル

目的ベース	属性ベース
「農業を仕事に」を目指し、 農業において「自分にできること」に フォーカス	生活の中の「困り事を解決すること」に フォーカス
仕事における「役割」が生まれる (+環境をかえることで、短所を長所に変換 できる「適所」を発見しやすい)	「短所」をカバーし合う形での助け合い という視点での「自分の役割」が生まれ る
生まれた「役割」における長所を さらに伸ばして、 「仕事」という形に持っていく (「困り事」(短所)の改善に時間をかけない)	「困り事」(短所)をさらなる助け合いで、 解消することで社会生活を送る
適材適所で、農業界のビジネスパートナーに なる形	「支援する人」が「支援される人」を 助ける形

農スクールはこ
こに特化

「働く」 = 農業(仕事)を通じた社会貢献

▶ これまでの就労支援のイメージを変え、働きづらさを抱える人を未来の農業に貢献する人材として捉えスキル開発を行うプログラム

働きづらさを抱える人

これまで
≠
助けられる存在



これから

今の自分にできること、自分の中に眠っている能力を発見し伸ばすことで**農園に貢献し、日本の食卓・農業の未来を作る存在**になる

収益貢献の御礼の一つの形が
「報酬」

就労困難者が
サラリー
マンとして
雇用就農する
際のイメージ

人手不足の農家・農業法人

これまで
≠
困っている人を慈善事業で助ける



これから

彼らの持っている能力で、**お客様や農園に貢献してもらう**

収益貢献してもらった御礼の形として「報酬」をお渡しする

今後の挑戦

- 食の安全性
- 生産の透明性
- 間接的な環境保全
- 地域経済への参加機会を提供



体験農園コトモファーム
＜心の拠り所としての場所＞
趣味・生きがいとしての野菜
作りを楽しむ場所の提供

上級者コース
＜生業を手に入れる場所＞
独立・個人事業系を目指すた
めの農業コーチング

企業研修
＜人材育成の場所＞
農業体験を活用した新人研修、
チームビルディング研修

コトモファームでの
サービス利用・リ
ソース提供を介した
間接的な支援



農スクールプログラム
＜社会復帰を支援する場所＞
農業スキル・メンタルトレー
ニングの提供により働けない人を
日本の農業界に貢献できる人へ

就労困難者



えと菜園
ONLINE SHOP

えと菜園
オンラインショップ
＜消費者と生産者をつなぐ場所＞

自然栽培・有機栽培で育てた
こだわりの農産物や、
それらを材料に作った商品を
九州熊本から直接届ける

食べる・作る
を通して農業への
理解を深める

農業界への就職を通
じて未来の生産者と
なり食を通して社会
を支える

農

飢餓のない世界

農業を通じて
あまねく人が食糧（生きる糧）を手に入れ
られる社会

農業の多面的機能を活用することで
エコシステムを拡大させていく

書籍紹介



2019年8月発売

「農で輝く! ホームレスや引きこもりが人生を取り戻す
奇跡の農園」河出書房新社



サポーター募集中

月 1,000円の寄付で

プログラムで使用するための
3-5種類の野菜の種が季節ごとに
買えます

月 3,000円の寄付で

受講生5名が、野菜を
3-5種類定期的に持ち寄ることができ
野菜不足の解消に繋がります

月 5,000円の寄付で

年に1回
自立した卒業生を迎え、勉強会を開催
することができます

月 10,000円の寄付で

5名の受講生が、月1回程度
プロの農家から直接、農家研修を受ける
ことができます

マンスリーサポーター

- ① 毎月 1,000円
- ② 毎月 3,000円
- ③ 毎月 5,000円
- ④ 毎月 10,000円

年に1回報告書を
送付致します!
(お支払い開始
11ヶ月目)

サポーター (今回のみ)

- ① 1,000円
- ② 3,000円
- ③ 5,000円
- ④ 10,000円
- ⑤ お好きな金額
(1円 1,000円~)

ホームページ (<https://know-school.org/>) より、PayPalでのご寄付が可能です。
〒252-0822
神奈川県横浜市磯区1100-9 TEL: 070-5467-4164
※ 顔に出ている顔像に出られないことがあります。ご了承ください。

NPO法人農スクール
農スクール

ご支援、お待ちしております▶

